

東京外かく環状道路の早期完成に向けた要望

東京外かく環状道路は、東京から放射状に伸びる高速道路を相互に連結し、羽田空港や京浜港など首都圏の陸・海・空の要衝を結ぶことにより、交通渋滞の解消、国際競争力の強化など、広く我が国全体にその便益が及ぶ重要な幹線道路である。また、災害時には、迅速かつ円滑な救命・復旧活動を支える「命を守る道路」として機能するなど、震災時の備えの観点からも早期整備が不可欠である。

本議員連盟は、東京外かく環状道路の早期完成に向け、国会議員・都民・民間団体とともに、様々な機会を捉えて、一日も早い工事着手を国に求めてきたが、平成二十四年度に本格的な工事に着手することとなった。

また、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、都内の交通渋滞を緩和し、円滑な大会運営や質の高い輸送サービスの提供に資するためにも、関越道から東名高速間の、早期の供用開始が期待されている。

さらに、東名高速以南、湾岸道路までの区間についても、ミッシングリンク解消を図り、計画の具体化にあたっては、国際空港としての羽田空港の利便性をより高めていくよう、東名高速から、羽田空港に向かうアクセスも視野に入れた検討が早期に必要である。

よって、東京都議会外かく環状道路建設促進議員連盟は、左記事項の実行を国に強く要望するものである。

記

一 関越道から東名高速までの区間については、東京に決定した二〇二〇年オリンピック・パラリンピック競技大会に間に合うよう、二〇二〇年早期の供用開始に向け、平成二十六年年度予算を確実に確保し、計画的に用地取得を進めるとともに、トンネル本体工事等について、完成時期を見据えて着実に推進すること。

一 国は、相続税等納税猶予の適用を受けている農地に対しては、利子税を免除する等、用地取得を迅速かつ円滑に進めるための措置を講ずること。

一 外環の環状道路としての機能を発揮するため、東名高速から湾岸道路までの区間について、早期に計画の具体化を図ること。とりわけ、日本の玄関口として国際化された羽田空港に向かって計画化し、事業化にあたっては、東名高速から第三京浜までの区間の早期整備を図ること。

平成二十五年十二月五日

東京都議会外かく環状道路建設促進議員連盟

会長	高橋 かずみ (自民)
副会長	三宅 茂樹 (自民)
副会長	中嶋 義雄 (自民)
幹事長	尾崎 大介 (公明)
幹事	鈴木 あきまさ (自民)
幹事	川井 しげお (自民)
幹事	小林 健二 (公明)
幹事	田中 健 (民主)
事務局長	高倉 良生 (公明)
会計	早坂 義弘 (自民)
相談役	吉野 利明 (自民)
相談役	藤井 一 (公明)